

項目	内容
名称	ゲルマニウム [英]Germanium (Ge) [学名]Germanium (Ge)
概要	ゲルマニウムは、ヒトでの必須性が認められてはいないが、生体内で健康に役立つ働きがあると考えられている超微量元素である。
法規・制度	■食薬区分 ・ゲルマニウム (無機ゲルマニウム/有機ゲルマニウム) : 「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・元素記号Ge、原子番号32、原子量72.61。炭素族元素の一つ。空気中では安定、赤熱すると白色の酸化ゲルマニウムを作る。アルカリ溶液及び塩酸に不溶、王水に可溶。+2価、+4価が有り+4価が安定である。
分析法	-

有効性

ヒ	循環器・	調べた文献の中に見当たらない。
ト	呼吸器	
での 評価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (1) 最新栄養学 第10版 (建帛社) 木村修一ら 翻訳監修
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について)
(1987133234) 内科. 1986;58(5):1210-4.
(1989062289) 臨牀と研究. 1988;65(6):1850-2.
(1990006349) 日本臨床電子顕微鏡学会誌. 1989;22(1):1-11.
(1989219186) 腎と透析. 1989;26(4):774-8.
(1990154292) 徳島市民病院医学雑誌. 1988;2:63-6.
(1991031306) 東邦医学会雑誌. 1989;36(2~3):119-31.
[\(PMID:8488824\) Am J Kidney Dis. 1993 May;21\(5\):548-52.](#)
[\(PMID:1726409\) Biol Trace Elem Res. 1991 Jun;29\(3\):267-80.](#)
[\(PMID:8586990\) J Neurol Sci. 1995 Jun;130\(2\):220-3.](#)
[\(PMID:2296345\) Nephron. 1990;54\(1\):53-60.](#)
[\(PMID:1436351\) Nephron. 1992;62\(3\):351-6.](#)
[\(PMID:1650857\) Jpn J Med.1991;30\(1\):67-72.](#)
(1991007499) 糖尿病. 1989;32(11):825-30.
[\(PMID:2977311\) Clin Nephrol. 1988 Dec;30\(6\):341-5.](#)
[\(PMID:2609936\) Acta Neuropathol. 1989;79\(3\):300-4.](#)
[\(PMID:2732598\) Nippon Naika Gakkai Zasshi. 1989 Mar;78\(3\):416-7.](#)
[\(PMID:1584320\) Nephron. 1992;60\(4\):436-42.](#)
[\(PMID:2854839\) Nippon Naika Gakkai Zasshi. 1988 Nov;77\(11\):1704-9.](#)
[\(PMID:3831368\) J Toxicol Sci. 1985 Nov;10\(4\):333-41.](#)
[\(PMID:8773630\) JAMA. 1996 28;276\(8\):606-7.](#)
[\(PMID:2173940\) No To Shinkei. 1990; 42\(9\): 851-6.](#)